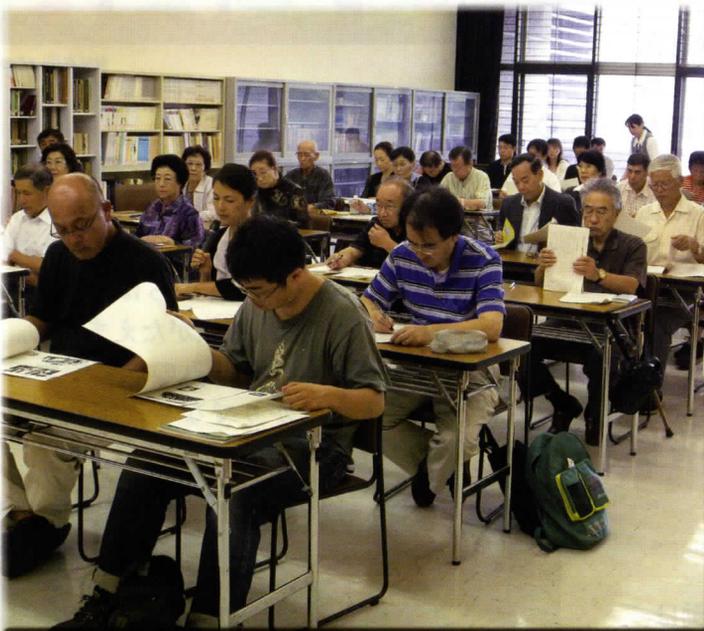


# あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.171 2010.11.1

70年の時を経て平成22年9月19日に

## 復活「話をきく会」第1回を開きました



11月7日(日)まで開催中の特別展「胡桃沢コレクションⅡ」にあわせ、早稲田大学文学学術院教授の鶴見太郎先生をお迎えしました。「信頼の往還―郷土研究の有るべき姿」という演題でお話しいただき、学都松本を支える博物館から新たな情報発信がなされました。

### もくじ

- 博物館ノートから◇市民とともに歩む博物館へよせてー エムの会の活動から …… 2-3
- 博物館TOPICS◇第4回「明治の授業を体験しよう」から …… 4
- ガイドコーナーはんでんぼく …… 4

# 市民とともに歩む博物館へよせて

—エムの会の活動から—

## はじめに

さわやかな秋日和の10月6日、碓氷峠鉄道文化むらの見学を中心とした博物館ボランティア「エムの会」の秋季研修会がおこなわれました。研修会とおして、博物館職員の皆さんと交流を深めるとともに、近代化遺産の活用について考える機会をもつことができました。

博物館のパートナーとして活躍する、私たち「エムの会」の活動事例を紹介します。



大人の遠足？碓氷峠鉄道文化むら

## 博物館ボランティア「エムの会」について

博物館ボランティア「エムの会」は博物館運営ボランティアグループとして平成11年4月に立ちあげられました。設立当初は、博物館からの協力要請をこなしていくサポーターとして活動していました。現在では、博物館を取り巻く環境の変化にあわせて、体験型イベントを博物館と協働して開催するといった博物館のパートナーとしての活動が多くなっています。会員数は現在20名。

あっ、大切なことを忘れていました。エムの会の「エム」は、ほほえむの「えむ」、Matsumotoの「M」、そして、Museumの「M」からとったものです。

## 具体的な活動

博物館パートナーとしての「エムの会」の活動は、この「あなたと博物館」をはじめとした刊行物や特別展のポスター・チラシなどの発送作業、館の要請によって諸行事に協力するなどがありますが、最近の活動の柱となるのは「年中行事シリーズ」に関連する活動と、年2回のバス研修です。

### 1 「年中行事シリーズ」

「年中行事シリーズ」とは、松本の伝統的行事

食を来館者にふるまうイベントです。曆に合わせて、次のような活動をしています。

#### ◇ 繭玉サービス

三九郎の繭玉を毎年1月14日に来館者へ配るイベントです。三九郎は子ども中心の行事で、かつては小正月におこなわれ、注連縄、達磨、松飾を集めて燃やす行事であることは広く知られるところですが。この三九郎の火で焼いたまゆ玉を食べると、一年間無病息災で暮らせるなどと伝えられています。

社会の変化によって、日をずらして三九郎をおこなうことも多くなっていますが、まゆ玉を炙り、無病息災を願いながら食べてもらいたいものです。



食紅を用いてつくった繭玉

#### ◇ 甘酒サービス

松本は月遅れの4月3日にひな祭りをおこなう家が多い地域です。この月遅れのひな祭りに合わせて甘酒をふるまいます。一般的な3月3日にひな祭りを楽しんだ来館者からは、2度目のひな祭りとおいし、甘酒に笑顔がたえません。そんな姿を見るのも私たちの楽しみの一つです。この日は甘酒をふるまうばかりでなく、師範資格を持つ会員が琴を奏でて来館者を歓迎します。



甘酒ばかりでなく琴の音色も楽しめます (平成22年4月3日)

## ◇ ほうとうサービス

松本の七夕といえば、人形と“ほうとう”。月遅れの七夕に“ほうとう”をふるまうものです。館であえた“ほうとう”に驚く来館者は松本市外の方が多ようです。松本の行事食に驚く方たちと交流できることも「エムの会」の魅力です。一昨年は松本城の本丸庭園でもふるまい、外国の方々にも好評でした。



「ほうとう、どうぞ」（平成22年8月7日）



松本城本丸庭園にて「Oh!Oishii-desu!」（平成20年8月7日）

## ◇ 冬至南瓜

冬至の日にカボチャ団子をふるまうものです。このサービスは新顔で、今年度から冬に博物館を盛り上げるイベントとしておこなおうと考えています。12月22日にはぜひ博物館へ足を運んでください。

## 2 バス研修

バス研修は他都市の博物館施設等におじゃまし、展示を見学するとともに同じような活動をおこなっているボランティアの皆さんと交流を図ります。

今年度は春秋の2回おこない、春は上田市内の施設を見学し、観光ボランティアガイドの皆さんと

交流しました。外からみえる方々に接する気持ち、おもてなしのココロの大切さを改めて確認することができました。と同時に、上田市の皆さんのように、私たちも博物館の展示をはじめもっと松本のことを勉強する必要があると感じました。秋は最初にふれたとおり碓氷峠鉄道文化むらほかで研修をおこないました。私たちの年代にとって懐かしい機関車基地であった機関区の跡地。ここを目の当たりにしてノスタルジーに浸る一方、旧き良きものにスポットをあて地域の活性化に役立てる地域の力に感心しました。

井の中の蛙、ではいけないので、このような研修の機会を今後も大切にしていきたいものです。



同じボランティア同士、会話が弾みます（平成22年6月9日）

## おわりに

私たち「エムの会」の活動は、『自分たちが楽しみながら、社会に貢献でき生き生きと過ごせること』を目標としています。松本市の博物館をより身近に感じていただくため、博物館とボランティアが協働して活動していくことが必要だと思います。来館者の皆さんとの何気ない会話から私たちが学ぶことも多く、逆に来館者のなかには松本の行事食を知り、食べ、プラス私たちの一言で松本を気に入ったという方もいます。

年に何回かの機会しかありませんが、博物館で活動する私たちボランティアと来館者が交流を図ることで、市民や観光客がお互いに学べるよう博物館創りに少しでも協力したいと願っています。

（矢沢正子／博物館ボランティア「エムの会」代表）

## 第4回「明治の授業を体験しよう」から

10月3日(日)に旧開智学校校舎で「明治の授業を体験しよう」を開きました。小学生20人が参加し、唱歌「村祭」を歌い、掛図を使った「言葉の読み方」、郷土誌では「年取り魚」を学びました。

さらに昔の遊びも体験しました。掛図では「土瓶」「徳利」など難しい漢字を当時の1年生が勉強していたことなどを知り、小学生ばかりでなく大人からも驚きの声があがりました。



### ガイドコーナー はんでんぼく

松本市立博物館から ☎0263-32-0133

#### 「新収蔵資料展」「博物館コトハジメⅡ」

会期 12月11日(土)～26日(日)  
会場 松本市立博物館  
観覧料 通常観覧料(大人200円、小人100円)

山と自然博物館から ☎0263-38-0012

#### 写真講座

##### 「上條英雄写真講座

～信州の夜の情景と四季の風景から～

日時 11月14日(日) 午前10時～正午  
会場 松本市山と自然博物館 2階講座室  
講師 上條英雄((社)日本写真家協会(JPS)会員)  
対象 一般  
募集 40名  
受講料 300円  
申込 電話で山と自然博物館まで

#### 上條英雄写真展

上記講座に合わせて、上條英雄氏の写真集『信州月あかり星あかり』『信州絶景美景』から写真パネル約24点をホールで展示します。

会期 11月13日(土)～12月23(木)  
観覧料 無料  
会場 松本市山と自然博物館 2階ホール

歴史の里から ☎0263-47-4515

#### 企画展「奈川の昔の暮らし～ソバづくり」

会期 11月3日(水)～12月12日(日)  
会場 松本市歴史の里  
観覧料 通常観覧料  
(大人400円、中学生以下無料)

重文馬場家住宅から ☎0263-85-5070

#### お茶席の会

日時 第8回/11月7日(日)  
午前10時～正午  
おしゃべり茶道の会(裏千家)  
受講料 通常観覧料  
(大人300円、中学生以下無料)

#### はた織り体験教室

裂布・竹ひごなどを使って布を織ります。

日時 第6回/11月27日(土)  
午前のクラス/10時～正午  
午後のクラス/1時～3時  
会場 馬場家住宅門長屋  
受講料 各講座1,000円(入館料込み)  
申込 電話で馬場家住宅まで

#### 布ぞうり作り体験教室

日時 第3回/11月27日(土)  
午前10時～午後3時  
会場 馬場家住宅主屋  
受講料 各講座1,500円(入館料込み)  
申込 電話で馬場家住宅まで

松本民芸館から ☎0263-33-1569

#### 企画展「世界のやきもの展」

民芸館には、中国、韓国をはじめ、世界のやきものが豊富にあります。

丸山太郎の眼で選び、集められた焼物の美にふれてください。

会期 12月7日(火)～2月20日(日)  
観覧料 通常観覧料  
(大人300円、中学生以下無料)

窪田空穂記念館から ☎0263-48-3440

#### 空穂生家将棋教室

日時 11月6日(土)  
午前の部/午前10時～正午  
午後の部(大会あり)/  
午後1時～午後4時  
会場 窪田空穂生家  
講師 プロ棋士・日本将棋連盟会員  
対象 午前/小中学生  
午後/大人(段位のある小中学生も参加可)  
受講料 無料  
申込 当日までに窪田空穂記念館まで

#### 空穂生家百人一首教室

日時 11月20日(土)・12月4日(土)・18日(土)  
午前10時～正午  
会場 窪田空穂生家  
対象 小中学生  
受講料 無料  
申込 当日までに窪田空穂記念館まで

時計博物館から ☎0263-36-0969

#### 体験講座「機械時計を作ろう!」

おもりを動力とする初期の機械時計を作ってみませんか?

日時 11月14日(日)  
午後1時30分～2時30分  
会場 松本市時計博物館 3階企画展示室  
定員 先着10組(事前申し込みが必要です)  
対象 小学生の親子、中学生  
受講料 時計作りキット1組につき1,500円  
申込 時計博物館まで

### あとがき

手前味噌になって恐縮ですが、市民からこんな声が寄せられました。「この時代に松本に、しかも中央の人の交流をこんなにやりとりした凄い人がいたんですね。当館で開催中の特別展「胡桃沢コレクションⅡ」を観覧された方の感想です。また、胡桃沢勘内が池上喜作とともに手掛けた「話をきく会」も70年ぶりに復活でき、学都「松本」の深みをよりますことができました。(O.K)

### あなたと博物館 No.171

発行年月日/平成22年11月1日 編集・発行/松本市立博物館  
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133

URL: <http://www.matsu-haku.com>

e-mail: [mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp](mailto:mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp) 印刷 川越印刷株式会社